

2026年第2回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○八代特別

八代（やつしろ）は、熊本県中南部の市。江戸時代には熊本藩家老松井氏の城下町として栄え、八代城や松浜軒などの旧跡が多く残る。また、低地では農業が盛んで、イグサの生産量は日本一を誇る。

なお、同市にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ八代がある。

○宗像特別

宗像（むなかた）は、福岡県北部に位置する市。同市にある宗像大社は、隣市である福津市の「新原・奴山古墳群」と共に、ユネスコ世界文化遺産である『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』を構成している。

○薩摩ステークス

薩摩（さつま）は、西海道に位置する旧国名。現在の鹿児島県の西半分にあたる。鎌倉時代以降は島津氏の統治下にあった。三方を海に囲まれた環境であることから古来より貿易が盛んで、海外文物の流入地ともなっていた。

<第2日>

○帆柱山特別

帆柱山（ほばしらやま）は、北九州市八幡西区と東区の境に位置する標高488mの山。名は、神功皇后の三韓出兵の際、この山から船舶や帆柱にする木材を切り出したことに由来する。東に続く皿倉山とともに北九州国定公園となっている。

○西部日刊スポーツ杯

日刊スポーツは、日刊スポーツ新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、福岡市に所在する日刊スポーツ新聞西日本西部本社より寄贈賞を受けて実施されている。

○紫川ステークス

紫川（むらさきがわ）は、北九州市の中心部を流れる川。延長約20 km。小倉南区の福智山に源を発し、小倉北区で響灘に注ぐ。上流には平尾台があり、下流では北九州市最大の三角州を形成している。

<第3日>

○小郡特別

小郡（おごおり）は、山口県山口市にある地名。江戸時代には山陽道の宿場町として栄え、1975年に山陽新幹線、1983年に中国自動車道が開通し、山口県の玄関口として重要な役割を果たしている。

なお、同地にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ小郡がある。

○雲仙特別

雲仙（うんぜん）は、長崎県島原半島西部の市。2005年に周辺7町が対等合併し、雲仙市となった。また、同半島の中央部にある火山群の総称であり、特別名勝に指定されている。雲仙天草国立公園は、火山景観を主体とした雲仙地域と、大小120余の島々の海洋景観を主体とした天草地域からなる。

○博多ステークス

博多（はかた）は、福岡県福岡市の区。また、福岡市街地の別称。古来、博多は太宰府の外港として、大陸文化輸入の玄関口として栄えた。毎年5月に開催される「博多どんたく」や7月に開催される「博多祇園山笠」などの祭りが有名。

なお、同区にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるエクセル博多がある。

<第4日>

○青島特別

青島（あおしま）は、宮崎市南部、日南海岸の北端にある島。周囲は浸食されて海食台を成し、「鬼の洗濯板」と呼ばれる景観を呈している。また、ビロウなどの亜熱帯性植物群落は、国の特別天然記念物に指定されている。

○九州スポーツ杯

九州スポーツは、東京スポーツ新聞社より九州地区を中心に発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○サマースプリントシリーズ テレビ西日本賞北九州記念（GⅢ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの第2戦。

本競走は、1966年に創設された重賞競走。当初は芝2000mのハンデキャップ戦であったが、1969年に1800mとなり、1972年に別定重量戦へ変更された。2006年から1200mのハンデキャップ戦となり、現在に至る。

テレビ西日本は、福岡市に本社を置く放送局。1958年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第5日>

○英彦山特別

英彦山（ひこさん）は、福岡県と大分県の県境にある奇石、奇峰に富む火山群の主峰。北岳・中岳・南岳の三峰からなり、中岳に英彦山神宮がある。山中には、国の重要文化財に指定されている奉幣殿（ほうへいでん）や銅鳥居（かねのとりい）、国の天然記念物に指定されている鬼杉がある。

○耶馬溪特別

耶馬溪（やばけい）は、大分県を流れる山国川、駅館川などが台地を刻んでできた溪谷。日本三大奇勝や日本新三景として有名。岩石美・森林美・溪流美が揃い、それらの調和がすばらしい名勝の地。菊池寛の小説「恩讐の彼方に」の舞台として有名な青の洞門がある。

○釜山ステークス

釜山（ぷさん）は、大韓民国南東部に位置する広域市。国内第二の都市として政治・経済・文化面で重要な役割を担っている。日本との関係も深く、小倉競馬場と釜山競馬場は2009年から姉妹競馬場として提携している。

<第6日>

○八女特別

八女（やめ）は、福岡県南西部にある市。八女地区の恵まれた風土と技術で生産される八女茶は、高級茶として全国で愛されている。また仏壇・ちょうちん・和紙・竹製品などの農村副業的工業が盛ん。

○西部スポニチ賞

スポニチは、スポーツニッポン新聞社より発行されているスポーツ紙スポーツニッポンの略称。九州地方では、福岡市に所在するスポーツニッポン西部総局が同紙を発行している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○阿蘇ステークス

阿蘇（あそ）は、熊本県北東部、阿蘇地域の中央部に位置する市。同地域にある阿蘇山は、世界最大級の複式活火山。中央には高岳をはじめとする阿蘇五岳がそびえ、世界でも有数の規模のカルデラを形成している。温泉やキャンプ場などが多数存在し、観光地として人気がある。

<第7日>

○ソレイユジャンプステークス

ソレイユ (Soleil) は、「太陽」、「ひまわり」を意味するフランス語。語源は古代ローマ神話の太陽神「Sol」。

○ひまわり賞

ひまわり (向日葵) は、北アメリカ原産のキク科の一年草。夏には、周囲が鮮黄色、中央が褐色の大きな頭状花を横向きに咲かせる。1982年に北九州市の市花に指定されている。花言葉は「あこがれ」「熱愛」。

○熊本城特別

熊本城 (くまもとじょう) は、熊本市にある城。別名銀杏城。1467～1487年頃に、肥後の豪族菊池氏の一族出田秀信が坪井川右岸の丘に城を築き千葉城と称したのに始まる。現在の城は、1601～1607年に加藤清正が築いたもので、この時に名も熊本城と改められた。

なお、同市には、JRAの映像提供施設であるVIESTA熊本がある。

○テレQ杯

テレQは、北九州市と福岡市に本社を置くTVQ九州放送の愛称。1991年開局で、TXN (テレビ東京) 系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第8日>

○不知火特別

不知火 (しらぬい) は、夜間の海上に多くの光が点在し、ゆらめいて見える現象。干潟の冷えた水面と大気との間にできる温度差によって、漁火が無数の影像をつくる異常屈折現象とする説が有力。八代海や有明海は、不知火の名所として知られる。

○宮崎ステークス

宮崎 (みやざき) は、九州南東部の県。また、同県南東部の市。マンゴーや日向夏など、南国の温暖な気候を利用した農産物が有名。

なお、同市にはJRAの競走馬育成施設である宮崎育成牧場があり、育成された競走馬は主にJRAブリーズアップセールで売却され、JRA育成馬としてデビューする。同施設内にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ宮崎がある。

○サマー2000シリーズ 農林水産省賞典小倉記念（GⅢ）

全5戦で実施されるサマー2000シリーズの第3戦。

本競走は、1965年に創設された重賞競走。当初は芝2000mのハンデキャップ戦であったが、1995年に別定重量戦へ変更された。2000年以降は再びハンデキャップ戦として、実施されている。

○筑紫特別

筑紫（ちくし）は、九州の古称。「つくし」ともいう。筑前国、筑後国を中心とする北九州を指す場合や、九州全体を指す場合などがある。